

第二十四回 西日本菊花大会

内閣総理大臣賞に 懸崖部門 石松 正廣氏(南区)



劣を判定し各部門優秀作品に対し大臣賞が〇本授与される。この大会第一位が当年度九州一との認識は菊花製作者仲間では定着しており、別名「菊作り九州ナンバーワン決戦大会」と言われている。

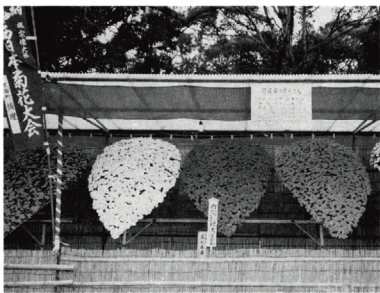
第二十四回西日本菊花大会最高位の内閣総理大臣賞は審査員合議により懸崖部門第一位石松正廣氏に決定した。

尚、各賞の受賞者は次の通りである。

宗像の秋を飾る当大社の一大神賑行事、西日本菊花大会(主催:宗像大社菊花会、後援:福岡県も、二十四日を迎え、十一月一日より二日迄の期間、当大社境内において盛大に開催されている。

六年宗像大社「昭和の大造営」完成の御慶賀、遷座祭奉祝大会の神賑行事として第一回大会を開催して、西日本菊花大会は、昭和四十六年北九州市、筑豊、遠賀、宗像、粕屋地区を中心として開催以来四十八年、福岡地区、四十九年佐賀、長崎、五十年大分、熊本、五十二年山口、そして本年平成六年宮崎、鹿児島の入会出品が決定、総数三千鉢を上まわる菊花の出品が、九州地区で例のない大規模で西日本最大級の地位を確保して久しく、全国的に注目を集めている大会である。

- 内閣総理大臣賞 石松 正廣氏(南区)
- 大臣賞 高田大助(八幡西区、平山)
- 大臣賞 俊美(宮崎市)
- 大臣賞 馬場園馨(宗像市)
- 大臣賞 福岡県知事 石田御年(粕屋郡、鯉島秋)
- 大臣賞 遠賀郡 石橋善治(城南区、金子黄瀬)
- 大臣賞 佐賀県知事 緒方貴久子(鳥栖市)
- 大臣賞 熊本県知事 熊本厚知(熊本市)
- 大臣賞 境 正(宇土市)
- 大臣賞 田中祐成(佐世保市)
- 大臣賞 福岡県議会議員 谷川良治(城南区、山口義)
- 大臣賞 八幡西区、細田誠一(嘉穂郡)
- 大臣賞 福岡県町村会々々長 石田俊延(粕屋郡、猿渡俊)
- 大臣賞 大牟田市、高橋良和(遠賀郡、大保弘信)
- 大臣賞 福岡県町村会々々長 長賞 浜田成男(粕屋郡、高島雪茂)
- 大臣賞 遠賀郡、妹川尚生(鳥栖市、本田国雄)
- 大臣賞 遠賀郡、梶原貞雄(行橋市)
- 大臣賞 全日本菊花連盟 大保弘信(直方市、船越順)
- 大臣賞 協賛者 池口盛信(八幡西区、呉屋)
- 大臣賞 小倉南区、田中康道(八幡西区、八高田大助)



- 大臣賞 福岡県教育委員会 久保文義(直方市、馬場園馨)
- 大臣賞 宗像市、初井弘己(嘉穂郡、梶原貞雄)
- 大臣賞 宗像郡町村会々々長 吉田松雪(山崎郡、池口盛)
- 大臣賞 債、長井芳雪(大穂市、中原貞次)
- 大臣賞 宗像郡町村会々々長 梶原幸吉(加藤、高山包)
- 大臣賞 大牟田市、石井勝夫(大牟田市、石井勝夫)
- 大臣賞 福岡県町村会々々長 中村昭(秋本光司)
- 大臣賞 遠賀郡町村会々々長 下村連(最所孝子)
- 大臣賞 宗像郡町村会々々長 吉田松雪(山崎郡、池口盛)
- 大臣賞 債、長井芳雪(大穂市、中原貞次)
- 大臣賞 宗像郡町村会々々長 梶原幸吉(加藤、高山包)
- 大臣賞 大牟田市、石井勝夫(大牟田市、石井勝夫)
- 大臣賞 福岡県町村会々々長 中村昭(秋本光司)
- 大臣賞 遠賀郡町村会々々長 下村連(最所孝子)
- 大臣賞 宗像郡町村会々々長 吉田松雪(山崎郡、池口盛)
- 大臣賞 債、長井芳雪(大穂市、中原貞次)
- 大臣賞 宗像郡町村会々々長 梶原幸吉(加藤、高山包)
- 大臣賞 大牟田市、石井勝夫(大牟田市、石井勝夫)

古式祭のご案内

古式祭とは、今年最後の収穫感謝祭のことです。氏神様(一年間の神恩を感謝して今年の収穫物を捧げ、忌火で炊いた御飯をお供えし、氏子の人達が神様と一緒にいただく神事です。

この神事は、宮中に於て陛下が神嘉殿にて新嘗祭を行われておられるのと同じ性質のもので、この古式祭は又「延命招福」の集いともいわれますが、氏神様と共にこの一年間の喜びを分かちあうといった「神人和楽」を共にする、年に一度の集会であることに意味があります。

八百以上の伝統をもつ宗像大社の古式祭には、特にお祭と呼ばれる、九年母、菱餅等で作られた特殊神饌や、江口の浜よりあがるゲバサモという海産物をお供えして、お祭を催すのが古来からのしきたりです。又くじが行われ、翁面・御神盃などが授与されます。

十一月十五日(木曜日)

祭典 午前六時

お座 午前六時三〇分~午前九時

一、場所 祭典 本殿 清明殿

二、お座料(一名分) 金五百円

記

「見る人」「作る人」「世話をする人」の三位一体の運営がなされており、花を愛するゆりある人身の育成に大いに貢献したいと考えている。

第二十四回西日本菊花大会協賛者

出光興産(株)、新出光、九州支店、白根運送(株)、九州支店、門司支店、福岡営業所、箱崎営業所、鹿児島営業所、大分営業所、西久営業所、久留米運送(株)、西鉄運輸(株)、宗像貨物(株)、(株)宗像クリン、(株)城山家具、平和薬業(株)、本田工業(株)、(株)弘法組、東郷自動車整備工場、建設工業(株)、(株)宗像クレイン、吉武造園(株)、貞兼運送(株)、楠建設、ナカマル醤油、マルヨシ醤油、第一運送(株)、南遠賀運輸(株)、北九州開業(株)、以上大会開催に際しましては、皆様方の御協賛、御協賛に、紙面を以て厚く御礼申し上げます。

中原方リデン賞

坂本生記、井崎光雄、山下尚義、田畑志志、(株)サカタのタネ賞、村井猛男、阿久根力、ヨシカネ特別賞、中田正江、野田角丸、古賀春秋

入選 中村和夫、山領松行、福田親晴、山本義雄、山本馨、内藤照雄

九州山口各県対抗大輪 福岡特別競技の上部 優勝 宗像市、橋上能和、平山俊夫、山咲光男(八十八才)

本年の最高齢賞は粕屋郡の石田御年氏(八十八才)が受賞、石田氏は高齢にも拘らず懸崖作を出品、上位に入賞され、表彰式当日高田会長より表彰状と記念品が贈呈された。

この大会運営に当たっては、地元の宗像市、宗像市を初め、官公庁、県内各地の協賛会社、後援者の支援に加え、宗像地区商工会、宗像青年会議所、各地連連協会の無料奉仕により施されている。

一話(38) 中国調査紀行(一) 樂 忞 子

今夏、九州大学考古学研究室の中国新疆ウイグル自治区調査(八月四日~十八日)に参加した。二週間中国の内側まで入り、各地の考古資料と現在の社会生活を観察して来た。

今回の調査は、西谷正教授を隊長に、九州大学六名、熊本大学二名、私とにより編成した百七名の小部隊であった。

調査する地域はゴビの砂漠の東部の内家自治区から始まり、モンゴル人民共和国に接する側を、途中からシルクロードへと乗り入れる。甘粛省を抜けて新疆ウイグル自治区に入ったわけである。確認する時代は漢代以前を主体とし、大内陸内は同時間帯である。ひとまず中国の時間と時計を一時間早めてセッとする。即わ同じ時間では北京郊外の飯店(ホテル)に泊る。夕食後翌日からの調査のミーティングを行う。

八月四日、中国に渡る。北京・内蒙自治州、フフホト・西夏、蘭州、敦煌、ゴビ砂漠、新疆自治州のウルムチ、同じくトルファン・北京と二週間の行程であった。

蒸気機関車、小型バス、ジープ、飛行機と乗物もいろいろ変えて行動した。やはり乾燥だけあって昼と夜の寒暖の差は大きくあつた。昼は三十五度、夜の猛暑であつて、夜六十七度の所々時もあり、乾季であるため、ジメジメせず快適な日々であつた。

中国調査紀行(一)

古式祭とは、今年最後の収穫感謝祭のことです。氏神様(一年間の神恩を感謝して今年の収穫物を捧げ、忌火で炊いた御飯をお供えし、氏子の人達が神様と一緒にいただく神事です。

この神事は、宮中に於て陛下が神嘉殿にて新嘗祭を行われておられるのと同じ性質のもので、この古式祭は又「延命招福」の集いともいわれますが、氏神様と共にこの一年間の喜びを分かちあうといった「神人和楽」を共にする、年に一度の集会であることに意味があります。

八百以上の伝統をもつ宗像大社の古式祭には、特にお祭と呼ばれる、九年母、菱餅等で作られた特殊神饌や、江口の浜よりあがるゲバサモという海産物をお供えして、お祭を催すのが古来からのしきたりです。又くじが行われ、翁面・御神盃などが授与されます。

十一月十五日(木曜日)

祭典 午前六時

お座 午前六時三〇分~午前九時

一、場所 祭典 本殿 清明殿

二、お座料(一名分) 金五百円

「見る人」「作る人」「世話をする人」の三位一体の運営がなされており、花を愛するゆりある人身の育成に大いに貢献したいと考えている。

第二十四回西日本菊花大会協賛者

出光興産(株)、新出光、九州支店、白根運送(株)、九州支店、門司支店、福岡営業所、箱崎営業所、鹿児島営業所、大分営業所、西久営業所、久留米運送(株)、西鉄運輸(株)、宗像貨物(株)、(株)宗像クリン、(株)城山家具、平和薬業(株)、本田工業(株)、(株)弘法組、東郷自動車整備工場、建設工業(株)、(株)宗像クレイン、吉武造園(株)、貞兼運送(株)、楠建設、ナカマル醤油、マルヨシ醤油、第一運送(株)、南遠賀運輸(株)、北九州開業(株)、以上大会開催に際しましては、皆様方の御協賛、御協賛に、紙面を以て厚く御礼申し上げます。

今夏、九州大学考古学研究室の中国新疆ウイグル自治区調査(八月四日~十八日)に参加した。二週間中国の内側まで入り、各地の考古資料と現在の社会生活を観察して来た。

今回の調査は、西谷正教授を隊長に、九州大学六名、熊本大学二名、私とにより編成した百七名の小部隊であった。

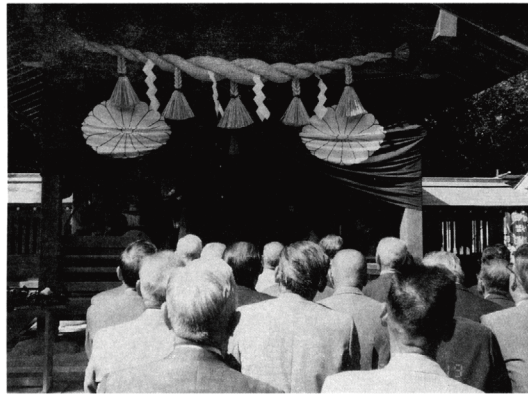
調査する地域はゴビの砂漠の東部の内家自治区から始まり、モンゴル人民共和国に接する側を、途中からシルクロードへと乗り入れる。甘粛省を抜けて新疆ウイグル自治区に入ったわけである。確認する時代は漢代以前を主体とし、大内陸内は同時間帯である。ひとまず中国の時間と時計を一時間早めてセッとする。即わ同じ時間では北京郊外の飯店(ホテル)に泊る。夕食後翌日からの調査のミーティングを行う。

八月四日、中国に渡る。北京・内蒙自治州、フフホト・西夏、蘭州、敦煌、ゴビ砂漠、新疆自治州のウルムチ、同じくトルファン・北京と二週間の行程であった。

蒸気機関車、小型バス、ジープ、飛行機と乗物もいろいろ変えて行動した。やはり乾燥だけあって昼と夜の寒暖の差は大きくあつた。昼は三十五度、夜の猛暑であつて、夜六十七度の所々時もあり、乾季であるため、ジメジメせず快適な日々であつた。

沖・中両宮秋季大祭齋行

神賑で暮れた筑前大島の一日



錦秋とはいえまだまだ残暑が厳しかった十月十九日(水)、当天社津津宮・中津宮の秋季大祭が、厳肅且つ盛況に斎行された。

中津宮の鎮座する筑前大島は、格別に敬神崇祖の念が篤い島で、村民は祭典への奉仕、協力を惜しまず積極的に参加される。本年も大祭当日の諸分担だけでなく、大祭諸準備から沖中両宮奉賛会、同翼賛会、敬神婦人部並びに氏子の献身的な奉仕が続いた。

大祭の準備は八月下旬の注連繩製用新穀収集に始まり、薬子、薬子ぐりで行われ九月十三日(土)には、農繁後農事者の協力も得て真新しい注連繩が奉製され、早速中津宮本殿・拝殿、御

神郡宗像新能開催

神の郷に蘇る幽玄の美

十月十一日(午後六時より)鎮国寺境内にて「神郡宗像新能」が開催された。

宗像地域の文化の振興と地域住民の交流促進を図り、これを目的として催されたこの企画には、観世流宗家親世清和師、和泉流狂言師で人間国宝の野村万作師外の演者を迎えた。

開催当日、鎮国寺境内に設けられた特設舞台には四千人の観客を集め、夕陽に照らされた鎮国寺境内は美しくライトアップされ、舞台裏に映し出された裏山の木々のさやが幽玄の世界を一層引き立てた。

定刻午後六時、先ず野宮

(山本勝一)、融(野村四郎)の仕舞に始まり、次に火入れ式が執り行われた。宗像郡市の有志者により新に火が入れられ、当大社から太田権吉司が出陣。又、この火入れ式に用いられた火は、開催に先立ち前日の十一日に宗像大社本殿にて採火式神事を執り行い、実行委員会役員参列のもと火切り道具を使い古式ゆかしく採火された。

公演は更に能「経正」観世清和、狂言「清和」野村万作、水「野村万作」羽衣「森本司郎」が披露さ



この「神郡宗像新能」は昨年十月に発起人委員会を發足して後、今年四月に実行委員会を結成し、宗像郡市内百数十名のボランティアにより準備が進められ、企画から一年、構想を遂げ、ついに本年開演にこぎ着けた。能は世界中に確立されたものであり、平安朝にはすでに奈良興福寺においては原初の形で行われてきたとされ、自然な舞台とすする野外能ともいうべき新能、かがり火が照らし出し

鎮国寺に懸けられた。更に十月十七日、十八日の両日には、中津宮遙拝所、御嶽神社、中津宮の清掃と御嶽装飾、奉納演芸舞台設置、餅つき、直会準備等の諸準備を奉仕、翼賛会も神賑行事の準備にあたり、後は大祭を待つばかりとなった。

大祭準備もすっかり整った十八日(午後三時)に地主祭を、同五時には沖津宮青宮祭と中津宮青宮祭を斎行、明日の大祭が無事斎行されるよう祈念された。

翌十九日、大祭当日は前日までの曇天とは打って変わり、雲一つ無い秋晴の絶好の祭日和となった。午前八時半、敬神婦人部、同九時半、御嶽神社秋季大祭、同九時半、中津宮秋季大祭、同九時半、中津宮大祭が、島内外の氏子、崇敬者多数参列のもと斎行された。

定刻、宮司以下神職、奉幣使、巫女並びに奉賛会役員、参列者が参進、拝殿所定の座に着座、祭典が開始された。祭典は修祓、宮司

の皇室・国家の安泰と国民の平穩、海上安全、大漁満足を五穀豊穡を感謝する祝詞奏上にと、奉幣使が宮内、宮外に奉幣を奉仕、巫女が浦安舞を奏した。後、宮司、参列者の玉串拝礼を以って終了、滞りなく執り行われた。

祭典に引き続き感謝状贈呈式に移り、昨年に続いて本年も注連繩新穀を奉納戴いた、遠藤英樹氏に宮司より感謝状と記念品が贈呈された。

祭典終了後、参列者は席を照海殿に移し、敬神婦人部が早朝から丹誠込めて準備した手作りによる刺身、かしわ弁当、吸い物等の直会に和氣満々の一刻を過ごした。

午後一時からは、境内の特設舞台に於て奉納演芸大会が催され、詩吟、舞踊、歌謡等三大会が村内各代表、中津中や飛び入りの大島小学校の先生方により披露された。子供から大人までそれぞれが一生懸命

第二十回 奉納吟剣詩舞道大会

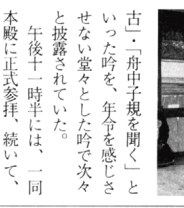
明活節の佳日にあたる十一月三日、清香吟社の主催

十一月三日、清香吟社の主催、第二十回奉納吟剣詩舞道大会が、参加百数十名の参加で、午前九時半より午後四時迄、清明殿に於て盛大に開催された。

今大会は、二十回目の記念すべき大会とあって、熊本本部から四十名を超える多数の参加があり、地元宗像の清香吟社、山会会員の力を中心に、構成吟あり剣舞ありと例年にも増して盛大な大会となった。

「舟中子規を聞く」といっただけ、年を感じさせない堂々とした吟で次々と披露されていた。

午後一時半には、一同本殿に正式参拝、続いて、



明活節の佳日にあたる十一月三日、清香吟社の主催、第二十回奉納吟剣詩舞道大会が、参加百数十名の参加で、午前九時半より午後四時迄、清明殿に於て盛大に開催された。

この「神郡宗像新能」は昨年十月に発起人委員会を發足して後、今年四月に実行委員会を結成し、宗像郡市内百数十名のボランティアにより準備が進められ、企画から一年、構想を遂げ、ついに本年開演にこぎ着けた。能は世界中に確立されたものであり、平安朝にはすでに奈良興福寺においては原初の形で行われてきたとされ、自然な舞台とすする野外能ともいうべき新能、かがり火が照らし出し

第二十三回 秋季奉納剣道大会

十一月三日は、全国的剣道大会が行われる

十一月三日は、全国的剣道大会が行われる。今年も、東京の武道館で、も日本一を決める全日本選手権が開催されている。

当社は、宗像市郡の小中高生の個人チャンピオンを決める大会が、本殿横の境内で行われた。

毎年この大会には、境内に埋めつけられた観衆から、歓声が湧き上がり、やんやの喝采を受けていた。また、翼賛会の奉仕によるヨーヨー釣り、くじ引きも行われ、供進が盛んに興じていた。

奉納演芸大会も最後を締め括った。筑前大島勇壮太鼓「大漁太鼓」の、勇壮な演奏を以って午後四時半前には終了、漁止めとなった。大島は終日大いに賑わった。

かくして、早朝より四五百十名が集まった大会、午後二時半には、各学年毎優勝者が決まった。

成績は次の通りである。

男子部
優勝 石松大輔 東部
二位 赤星仁司 東部
三位 坂本直俊 日の里東
優勝 坂本泰基 日の里東
二位 生田圭一 安海
三位 村田潤一 東郷
優勝 瀧下清浩 赤間西
二位 石松恒人 東部

女子部
優勝 溝上直也 安海
二位 石橋 圭 中央
三位 田島久生 城山
優勝 谷口紀章 福教大
二位 末吉寛行 福教大
三位 浜田健児 九州高
名選手 名選手
名選手 名選手



優勝 瓜生穂子 城山
二位 高向瑞恵 安海
三位 牧野瑞希 中央
高校・大学生
優勝 川原三子 福教大
二位 梅津智子 福教大
三位 赤木淳子 福教大
優勝 久田 龍 安海
二位 吉広裕人 赤間西
三位 大竹 浩 赤間西
中学一年生
優勝 倉地研介 中央
二位 魚住 安 安海
三位 安部 豊 安海
中学二年生

社務日誌抄
十月一日 三日 宗像大社秋季大祭
十月二日 織機神社祭
十月三日 出光興産(株)福岡支店長 山本繁弘氏他、名参拝 出光九州光連会一行八名参拝
十月四日 大宰府天満宮内田祐宜 他一名参拝
十月五日 備前県神社司 阿部憲之介氏、神職 法 法
十月六日 福岡県神社司 宮司荒木田泰久氏、伊豆川小島町長、和田玄海町長等参拝
十月七日 静岡県宗像神社司丸尾恒雄氏他氏子総代参拝
十月八日 田島婦人会清掃 奉仕
十月九日 大牟田市教育委員会 田島氏来社
十月十日 縫製神社祭
十月十一日 宗像市史編纂委員会文書撮影の件にて来社
十月十二日 福岡大学西谷講 師他研修生十四名来社
十月十三日 全国国立大学 図書館長一行十九名来社
十月十四日 福岡県教育庁学務課長 新谷喜之氏就任挨拶の 為来社
十月十五日 愛知県大山市 大縣神社司司飯田清春 氏他五名参拝
十月十六日 京都映画映像企画事業部プロデューサー兼 田島隆氏他、名取材の 件にて来社
十月十七日 天皇、皇后両 陛下御慶賀奉告報告 祭並月次祭

十一月三日は、全国的剣道大会が行われる。今年も、東京の武道館で、も日本一を決める全日本選手権が開催されている。

当社は、宗像市郡の小中高生の個人チャンピオンを決める大会が、本殿横の境内で行われた。

毎年この大会には、境内に埋めつけられた観衆から、歓声が湧き上がり、やんやの喝采を受けていた。また、翼賛会の奉仕によるヨーヨー釣り、くじ引きも行われ、供進が盛んに興じていた。

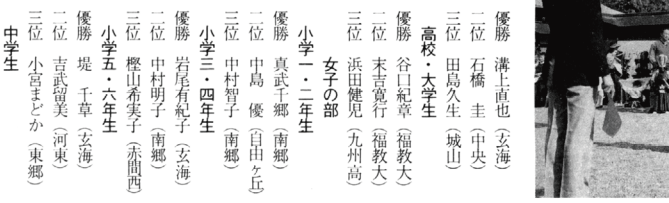
奉納演芸大会も最後を締め括った。筑前大島勇壮太鼓「大漁太鼓」の、勇壮な演奏を以って午後四時半前には終了、漁止めとなった。大島は終日大いに賑わった。

かくして、早朝より四五百十名が集まった大会、午後二時半には、各学年毎優勝者が決まった。

成績は次の通りである。

男子部
優勝 石松大輔 東部
二位 赤星仁司 東部
三位 坂本直俊 日の里東
優勝 坂本泰基 日の里東
二位 生田圭一 安海
三位 村田潤一 東郷
優勝 瀧下清浩 赤間西
二位 石松恒人 東部

女子部
優勝 溝上直也 安海
二位 石橋 圭 中央
三位 田島久生 城山
優勝 谷口紀章 福教大
二位 末吉寛行 福教大
三位 浜田健児 九州高
名選手 名選手
名選手 名選手



優勝 瓜生穂子 城山
二位 高向瑞恵 安海
三位 牧野瑞希 中央
高校・大学生
優勝 川原三子 福教大
二位 梅津智子 福教大
三位 赤木淳子 福教大
優勝 久田 龍 安海
二位 吉広裕人 赤間西
三位 大竹 浩 赤間西
中学一年生
優勝 倉地研介 中央
二位 魚住 安 安海
三位 安部 豊 安海
中学二年生

社務日誌抄
十月一日 三日 宗像大社秋季大祭
十月二日 織機神社祭
十月三日 出光興産(株)福岡支店長 山本繁弘氏他、名参拝 出光九州光連会一行八名参拝
十月四日 大宰府天満宮内田祐宜 他一名参拝
十月五日 備前県神社司 阿部憲之介氏、神職 法 法
十月六日 福岡県神社司 宮司荒木田泰久氏、伊豆川小島町長、和田玄海町長等参拝
十月七日 静岡県宗像神社司丸尾恒雄氏他氏子総代参拝
十月八日 田島婦人会清掃 奉仕
十月九日 大牟田市教育委員会 田島氏来社
十月十日 縫製神社祭
十月十一日 宗像市史編纂委員会文書撮影の件にて来社
十月十二日 福岡大学西谷講 師他研修生十四名来社
十月十三日 全国国立大学 図書館長一行十九名来社
十月十四日 福岡県教育庁学務課長 新谷喜之氏就任挨拶の 為来社
十月十五日 愛知県大山市 大縣神社司司飯田清春 氏他五名参拝
十月十六日 京都映画映像企画事業部プロデューサー兼 田島隆氏他、名取材の 件にて来社
十月十七日 天皇、皇后両 陛下御慶賀奉告報告 祭並月次祭

